

芝居茶屋 かわら版 新日屋

其の五十二
題字:橋右橋

SHINNICHIYA supports your joyful time with the traditional popular entertainment.

発行元:有限会社 新日屋
平成22年6月発行 通巻052号



イベントの参加について

①電話・FAX・E-mailでお申し込み下さい

②お振込をお願いします

※振込手数料はご負担下さい。
※申込人と振込人氏名が異なる場合はご連絡下さい

③お振込の確認後、受付確定となります

※キャンセルは2週間前までにご連絡下さい

④集合場所を記した参加証を発送します

※当日は参加証を必ずお持ち下さい

事前申込・事前振込み制となります
定員になり次第、締切となります

イベントのお申し込み

Tel 03-5652-5403
Fax 03-5652-5404

E-mail reservation@shinnichiya.com

芝居茶屋 新日屋
〒103-0005
東京都中央区日本橋久松町13-3
木下ビル4階

<振込先>

三菱東京UFJ銀行 深川支店
普通預金 1784227
有限会社新日屋 ユ)シンニチヤ

ニッポンのおもてなし
おもてなしのプロの一言
「評価はお客様が決めること」
橋本亨さん
はしもとこおる



日本橋「割烹とよだ」5代目

日本橋「割烹とよだ」
三越前駅徒歩2分
gwill.co.jp/toyoda



昨年から日本橋で開催していた「おもてなしエクスペリエンス」の食事でも評判だった「割烹とよだ」。とよだが日本橋に店を構えたのは幕末の文久3年。店内にさりげなく飾られた昔の看板などから、歴史の重みを感じます。しかし、敷居の高さはなく、格調ある中に、親しみやすさ、居心地のよさが漂います。一見さんお断りの料亭とは異なり、昼は周辺の会社員、夜は地元の方もいらつしやる地域に根ざしたお店です。

5代目の橋本亨さんは日本橋生まれの生粋の江戸っ子。子供のころから料理が好きだったそうです。橋本さんには古武道・居合の師範という一面もあり、端正なたずまいから、精神性を重んじる居合の修練がうかがえます。一階のカウンターは、橋本さんの代に改装したそうで、「お客様の前で料理をする。その緊張感で鍛えられます」と言います。お客

様と直に接することで、反応や会話から好みを感じることができそうです。料理は最初に食べた時の印象が強く残り、2度3度食べると最初の方が美味しかったと感じるもの。何度も足を運んでくださるお客様に、いつでも美味しいと感じてもらえるよう、好みに合わせて味を調整することが大切だと思います。また、老舗であることはあまり意識しないとも。素材も保存法も変わる中で、料理も時代に合わせた変化していくものと考えているそうです。一方、大切なのは、「味を一定にすること。素材をベストな状態に保つ」ことだと橋本さんは言います。時代や好みに合わせて変えることと、常に一定に保つて変えないこと。どちらにも、お客様を第一に考える「おもてなし」の気持ちが根底にあります。



玄治店 濱田家 (げんやだな はまだや)
大正元年創業。日本料理の歴史と伝統を守り続ける。ミシュラン2つ星。

【日程】7月24日(土)
【会場】玄治店濱田家(人形町駅)
【夜の部】13時開場、13時30分開演 (終了予定15時)
18000円(税込、食事付)
※ゆかたでお越しのお客様は、お土産付
【夜の部】18時開場、18時30分開演 (終了予定20時)
30000円(税込、食事付)



昭和30年代、明治座にて「吉兆手打式」

「ご好評いただいた「おもてなしエクスペリエンス」が、日本橋のゆかたイベントに合わせて1日限りの復活です。芸者の踊りを堪能した後は、お座敷遊び、記念撮影と盛りだくさんの内容を、料亭ならではの特別感でお楽しみください。昼の部は幫間の芸、夜の部では、今では見られない貴重な踊り「吉兆手打式」を特別に披露。お食事は昼夜ともに、ミシュラン二つ星濱田家特製の松花堂弁当。

吉兆手打式
芳町花街のために作られた今では見られない貴重な踊り。芳町芸者の由緒や四季がこめられた詞に合わせて、大勢の芸者が踊り、かつては明治座で行われていた「霞町をどり」のフィナーレを飾った。



ミシュラン2つ星 玄治店濱田家で楽しむ おもてなしエクスペリエンス 日本橋芳町夏の宴

日本の季節を楽しむ うかい鳥山 ホタル狩りと篠笛の夕べ

緑深い奥高尾の六千坪におよぶ敷地の中に、うかい鳥山の合掌造りの集落があります。清流にはホタルが群生し、うかい鳥山の庭にも飛び交います。都会の喧騒を離れた静寂の中、ホタルの微かな光とともに、篠笛の音色が幻想的な世界へ誘います。名物の地鶏料理を味わいながら、贅沢な時をお過ごしください。

【日時】6月21日(月) 17時45分(終了予定20時30分)

【会場】うかい鳥山(京王線高尾山口駅)

【料金】12000円(税込・お食事付)

※駅より20分おきに送迎バスが出ております。

お帰りもご安心下さい。



新日屋納涼屋形船

夏ならではの屋形船でゆったり夕涼み。仲間さんとお座敷遊びで楽しいひと時を過ごしましょう。船上のデッキからはお台場の夜景が。お弁当はコラムにもある割烹とよだからお取り寄せします。

【日時】7月22日(木)・7月29日(木)

いずれも18時30分出船(約2時間)

【集合】舟宿大江戸(品川駅)

【料金】12000円(税込、お弁当付)



名勝 清澄庭園涼亭で楽しむ 隅田川馬石の怪談噺

池に浮かぶように建てられた「涼亭」。池を渡る夜風は格別の涼しさです。真夏の夜、本格派隅田川馬石の落語(怪談噺)をお楽しみ下さい。※東京きもの倶楽部会員優先予約

【日時】8月11日(水) 18時30分(終了予定20時)

【会場】清澄庭園内 涼亭(清澄白河駅)

【料金】3500円(税込)

マンダリンオリエンタル東京で愉しむ

日本橋納涼怪談 2010

人間国宝・一龍齋貞水(講談師)の話芸に特殊演出効果を加えた「立体怪談」。6ツ星ホテルならではの、ラグジュアリーな夜をお過ごしいただけます。

【日時】8月15日(日) 16時30分(終了予定17時30分)

【会場】マンダリンオリエンタル東京(三越前駅)

【料金】鑑賞券のみ 6500円(税込)

【浴衣・着物の場合】ワンドリンクサービス

お食事付き 12000円(税・サービス料込)

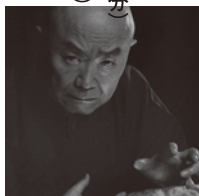
落語 隅田川馬石

すみだがわ ばせき



講談 一龍齋貞水

いちりゅうさい ていすい



歌舞伎講座&鑑賞

新橋演舞場の1等席で、ゆったり歌舞伎鑑賞。事前講座に、幕間の食事などがついてお得です。



【日時】7月11日(日)夜の部

【講座】開始 15時15分(開演 16時30分)

【会場】新橋演舞場および劇場地下食堂(東銀座駅)

【料金】17,500円(税込、1等席・イヤホンガイド・講座受講料・食事付)

【出演】市川團十郎、中村吉右衛門ほか(予定)

小豆温泉かけながし「花木の宿」夕食は地元の野菜を使ったヘルシー中華です。



福島県奥会津地方にある檜枝岐(ひのえまた)村で、江戸時代より代々伝えられてきた檜枝岐歌舞伎。国指定重要文化財の神社境内にある坂が自然の観客席となります。夕闇が深まる中、露天での鑑賞は、その昔上演された雰囲気伝わります。役者は全て村民で、仕事の合間をぬっての練習です。年3回の上演、個人ではなかなか行けない芝居小屋へ日本橋からバスのご案内します。歌舞伎ファン必見です。

行程 主催:国際急行観光株式会社

1	日本橋9:00——首都高速・東北道——西那須野塩原IC——西那須——道の駅(途中休憩)
	ミニ尾瀬公園散策——16:30頃 小豆温泉——19:00頃「檜枝岐歌舞伎」鑑賞——20:30頃 小豆温泉(宿泊:花木の宿*夕食は中華料理)
2	ホテル8:30——日光……日光東照宮(二社一寺)見学——宇都宮IC(昼食)
	——東北道——18:00頃 日本橋(解散)

●募集人数:各35名様 / 最小催行人数20名様(お部屋は2名1部屋となります)
●代金:A 39,000円(税込)、B 42,000円(税込) ●食事:朝食1、昼食1、夕食1
●宿泊:小豆温泉 花木の宿 ※天候・道路事情等により行程及び時間が変更となる場合があります。

芝居茶屋新日屋 全国芝居小屋めぐり 茅葺屋根の芝居小屋 檜枝岐歌舞伎を訪ねる

A日程: 8月18日(水)~19日(木)
B日程: 9月4日(土)~5日(日)

